公　表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	楡の会 ルビーノ（児童発達支援・放課後等デイサービス）				
○保護者評価実施期間	2025年　11月　1日	～	2025年　12月　19日		
○保護者評価有効回答数	対象者数	106名	回答者数	52名	回答率 49.1%
○従業者評価実施期間	2025年　11月　21日	～	2025年　12月　19日		
○従業者評価有効回答数	対象者数	5名	回答者数	5名	回答率 100.0%
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　2月　20日				

★分析結果

	事業所の強みだと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	更に充実を図るための取組等
1	それぞれのお子さま･ニードに添った支援計画書作成と、サービスや安心感の提供	・フォーマル－インフォーマル両方のアセスメントを通し、個々のお子さまの強みやニードを見立てた支援計画と、個別的な環境・関わり合いも重視して、安心して通所していただける時間と空間となるよう心掛けています	・関係機関との連携をニードに添ってより充実するよう心掛けます ・セカンドオピニオンのニード発掘として、担当者以外にも主治医や児童発達管理責任者（心理士）へご相談いただけることを改めて周知します
2	ご家族との情報共有や相談・助言等の直接的な家族支援	・親子で通所していただくことを通し、保護者の方との情報共有や、困りごとや相談を心理士が一緒に考え合う対応を大切に伴走しています	・お話やご相談をよりしていただきやすくなるよう、お子さまの通所日時とは別で、来所やオンラインでの面談が可能であることを定期的にご提案します

	事業所の弱みだと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応や保護者会等に関する情報発信・周知の少なさ	・ご予約制のため、時間や頻度が限定される中で、訓練や安全に関する点検の実施場面が多くの方の目に入りにくい状況があります	・1階受付に訓練実施日時をあらかじめ掲示し、当日にご予約のない方へもより周知し、安心感を持っていただく ・安全計画をいつでも見ていただけるようにしていますが、その点を改めて周知します
2	保護者同士の交流や、当所を利用されているお子さまのごきょうだい同士の交流等、“横のつながりづくり”に関するニードの確認、情報発信や取り組みの少なさ	・現時点でニードは少ない状況ですが、左記の機会や発信があることによって発掘されるニードがあるかもしれません	・保護者やごきょうだいに関し、当所をきっかけとした“横のつながり”へのニードを改めて汲むよう心掛けます ・共通する趣味やアクティビティ等を介した交流機会の企画を不定期開催の形から検討します

事業所職員からの意見・アイディア等

●事業の強みや、今後強化・発展できると思うこと

個々のお子さまやご家族のニードや相談に個別的に寄り添いながら支援・伴走に取り組むところ/楡の会こどもクリニックとの連携

●工夫していることや意識的に行っている取組等

お子さまの得意･苦手の傾向を強みや言動の意味として保護者の方に受け止めていただけるように共有しながら､対応等について主に保護者の方と考えあうところ

●事業の更なる充実を図るための改善案等

関係機関との連携のニードに添った更なる充実/情報発信面の工夫/個別性を大切にしながらも､つながりをより開いていく･広げていく機会の模索

公　表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名　楡の会 ルビーノ（児童発達支援）

公表日　2026年3月2日(月)

利用児童数　8名　　回答数　2名

			はい	どちらとも言えない	いいえ	知らない	ご意見
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	0	0	0	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	0	0	0	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	0	0	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	0	0	0	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	2	0	0	0	
	6	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0	
	7	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0	
	8	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0	
	9	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	0	0	0	
	10	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	0	1	0	1	
保護者への説明等	11	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について 丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0	
	12	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0	
	13	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	0	0	2	
	14	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	0	
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0	
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0	
	17	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	0	1	
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	0	
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	2	0	0	0	
	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	1	
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0	
非常時等の対応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	0	0	1	
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	0	0	0	2	
	24	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	2	0	0	0	
	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	1	
満足度	26	こどもは安心感をもって通所していますか。	2	0	0	0	
	27	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2	0	0	0	
	28	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0	

お子さまの発達や子育てのことで、同じようなお悩みがある方がいた場合、当事業を紹介したいと思いますか？　**5.0点**　/6点満点

公　表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名　**楡の会ルビーノ（放課後等デイサービス）**

公表日　2026年3月2日(月)

利用児童数　89名　　回答数　50名

			はい	どちらとも言えない	いいえ	知らない	ご意見
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	44	4	0	2	いつも親身に寄り添っていただき、利用しやすいです。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33	5	0	12	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化(※1)された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。※1；こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう物の配置などを工夫すること	39	4	0	7	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	44	2	0	4	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	50	0	0	0	担当の心理士さんには大変お世話になっております。娘の成長に欠かせない存在だと思います。 1人の担当者に任されているのでセカンドオピニオンを聞く機会もできたら良いと思う。適切な支援の提供なのかどうか、親からするとわからない。 この様な支援が無ければどうしていいかわからず、途方に暮れる毎日だったと思います。本当にありがたかったです。
	6	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。※3；「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。	49	1	0	0	
	7	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	48	2	0	0	
	8	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	49	1	0	0	
	9	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。※4：事業所の日々の支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障がいの特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。	41	7	0	2	
	10	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	5	23	18	
保護者への説明等	11	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	50	0	0	0	いつも親身に的確に対応してもらっています。 まだ始めたばかりなので分からない。
	12	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	50	0	0	0	
	13	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。※5；保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。	18	10	3	19	
	14	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	50	0	0	0	
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	49	1	0	0	
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	49	1	0	0	
	17	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	11	5	31	
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	40	7	0	3	
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	47	3	0	0	
	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	8	2	26	
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	47	1	0	2	
非常時等の対応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	6	2	22	
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	5	0	36	
	24	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	29	3	0	18	

			はい	どちらとも言えない	いいえ	知らない	ご意見
	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事 故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	5	1	24	
満足度	26	こどもは安心感をもって通所していますか。	47	3	0	0	思考や発言に少しずつですが、改善が見られて来た様に思います。 いつもすぐ悩みをきいてもらえたり、子供の気持ちによりそってもらえて幸せです。 親の話、子供の話に逐一、同調してくれてどちらも安心感を持って通うことができる。 相談先ができて感謝しています。 学校の別室以外に通える場所ができて親としては良かった、できることが増えると良いなと思う。始めたばかりですが、子供が嫌がらずに来ているので良かった。 娘が他人に心を開いて胸のうちを話すのは正直厳しいと思ってますが母の悩みや思いもカウンセラーさんには親身になって聞いて頂き、不安が楽になるときがあります。ありがとうございます。 職員の皆様が常に笑顔で優しい雰囲気であふれているので、子供が楽しみに通えています。 本人がとても楽しみにしており、私自身も先生に話を聞いていただける場でもあるので、利用して良かったと思っています。 家族以外の人と話す機会があること。 担当の先生が親身になり話しを聞いてくれて、助言をしてくれ、次に会った時には、その事について必ずどうでしたか？と聞いてくれるので、わからない事・困った事等話せるので、先生に出会えて良かったし、利用して本当に良かったと思います。 育児の困難さを相談できる、マンツーマンで子どもと関わってもらえる(集団療育だと猫被って意味ないタイプの子なので) 子供に対しての悩みがあった時、よくお話を聞いてくださり、その時にあった対処方法などを教えてくださるので助かっています。 通所頻度もさほど頻繁ではなく（月2回）、通所時にやることも心理士さんと1対1で遊ぶ、というような内容で、果たしてこれで効果があるのだろうか、と当初は疑問に思うこともありました。実際、即効性のあるような取り組みではないだろうと思います（子どもの発達に関して、即効性のある方策というのはそもそも存在しないのでしょう）が、半年ほど通所をして、子どもが自分の意思や感情を言葉で表現できることが増え、親とのコミュニケーションがスムーズに行くことが増えてきました。お互いに良い感情で過ごせることが増えてきたと感じ、非常に嬉しいです。 親切 待ち時間寝てしまうかもなので、手荷物入れるロッカー鍵付きのがあるとうれしい。
	27	こどもは通所を楽しみにしていますか。	40	10	0	0	
	28	事業所の支援に満足していますか。	46	4	0	0	

お子さまの発達や子育てのことで、同じようなお悩みがある方がいた場合、当事業を紹介したいと思いますか？	5.3点	/6点満点

公　表

事業所自己評価の集計結果

事業所名　楡の会 ルビーノ（児童発達支援）　　　　公表日　2026年3月2日(月)

			はい	いいえ	工夫していることなど
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	5	0	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	5	0	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	
適切な支援の提供	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	活動は、お子さまの主体性や自己選択を尊重しながら、それぞれのお子さまの安心感や見通しの在りように寄り添った変化の幅に留意しながら展開しています。 個別での取り組みが主ですが、お子さまのご様子やニード等を踏まえて小集団での取り組みも行っています。
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	
	12	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	
	13	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	
	14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	
	15	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	
	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児 童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5	0	
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	
	22	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性 を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	地域の中での交流について、日常でその機会が得られている方が多く当所へのそのニードもあがっていないため設けておりません。 関係機関との直接的な情報共有はそれぞれのニードに応じて行っています。 地域の他のお子さまとの交流機会は、それぞれのお子さまのご様子や、すでに日常でその機会が得られている方々が多いこと、当所へのその点のニードも挙がっていないといった理由から、機会を設けておりません。 地域の中で他のこどもと活動する機会について、日常でその機会が得られている方が多く、当所へのそのニードもあがっていないため設けていません。
	24	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	
	25	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	
	26	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	
	27	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	5	0	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	
	29	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	
	30	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	

			はい	いいえ	工夫していることなど
保護者への説明等	31	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	保護者同士の交流について、必要とされる方に対して保護者会の情報提供を行っております。 事業所の行事について、地域の方も招くかたちでの秋まつりを開催しています。 保護者会や保護者同士の交流へのニードは、例年、必要・必要ないという両方のご意見があり、ニードのある方へは保護者会の情報提供を行っております。 地域の住民の方々も参加していただける秋祭りを開催しました。
	32	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	
	33	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	
	34	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	
	35	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	
	36	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	
	37	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	
	39	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	
非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	お子さまにアレルギーがあるか否か、アレルギーがある場合の対応や配慮等については、保護者の方に確認をさせていただき、対応しています。 安全管理点検時や気になる事案が生じた際に、インシデントやアクシデントにつながる前の、ヒヤリハット段階で事象の発見・共有、再発防止に向けた検討と共有を心がけようと職員間で改めて確認しています。
	42	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	
	44	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	
	45	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	
	46	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5	0	
	47	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	

公　表

事業所自己評価の集計結果

事業所名　楡の会ルビーノ（放課後等デイサービス）　　　　公表日　2026年3月2日(月)

			はい	いいえ	工夫していることなど
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか　。	5	0	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	
適切な支援の提供	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	お子さまそれぞれの主体性、自己選択・自己決定を支え、尊重することを大切にした関係性の積み重ねを心掛けています。お子さまそれぞれの安心感や見通し在りように寄り添って変化の幅には留意して展開しています。 個別での取り組みを主としながら、それぞれのお子さまのご様子やニードに添って小集団での取り組みも展開しています。
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	
	12	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	
	13	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	
	14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	
	15	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	
	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5	0	
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	
	22	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性　を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	
	23	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0	
	24	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	
関係機関や保護者との	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	地域の他のお子さまとの交流機会については、日常でその機会が得られている方が多く当所へのそのニードもあがっていないため設けておりません。 保護者の方との来所が基本のため、送迎に関する学校との連携がなく、情報共有は行っておりません。 地域の他のお子さまとの交流機会は、お子さまのそれぞれのご様子、すでに日常でその機会が得られている方が多いこと、当所へのそのニードそのものも挙がっていないという理由から、設けておりません。 地域の中で他のこどもと活動する機会について、日常でその機会が得られている方が多く、当所へのそのニードもあがっていないため設けていません。
	26	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	
	27	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	
	28	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支　援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	
	29	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	

			はい	いいえ	工夫していることなど
連携	31	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	
	32	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	保護者同士の交流に関して、必要とされる方に対して保護者会の情報提供を行っております。 事業所行事への地域住民の正体について、地域の方を招くかたちでの秋まつりを開催しております。 保護者会や保護者同士の交流は、例年、必要・必要ないといった両方のご意見をいただきます。ニードのある方には保護者会の情報提供を行っています。 地域の方も参加していただける秋祭りを開催しました。
	36	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	5	0	
	37	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	
	38	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	
	40	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	お子さまのアレルギーの有無や、アレルギーがある場合の対応や配慮は、保護者の方に確認して対応しています。 年4回実施している安全管理点検時や何か気になる事案があった際に、インシデントやアクシデントの前のヒヤリハットやその未然段階で、発見・情報共有、再発防止に向けた検討や情報共有を心掛けようと、改めて職員間で確認しあっています。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備 え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5	0	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	